

注目！元氣カンパニー

株式会社丸山機械製作所

群馬県高崎市

独自技術を結集した新聞折込広告丁合機

株式会社丸山機械製作所は独立系のメーカーとして、1950（昭和25）年の創業以来、各種産業機械を開発。中でもよく知られているのが新聞販売店向けの新聞折込広告丁合機だ。高い技術力ときめ細やかなアフターフォローが新聞販売店の高い評価を得ている。

新聞折込広告丁合機は、新聞のチラシを1枚ずつ抜き取り、それらを合わせてひとつに束ねる機械。手作業で行うことが多かったこの作業に着目し、1973（昭和48）年に開発に成功、東日本の新聞販売店へ普及させた。だが、「チラシが機械の中で詰まるのは日常茶飯事。また、さまざまな紙質のチラシを確

実に1枚ずつさばけるようにするのに苦労しました」と第一製造部長の谷口秀和氏。改良を重ねて、さまざまな紙質のチラシに応じた丁合を可能にし、さらに同じチラシが1度に2枚以上出てくる「重送」を検知して知らせる画期的なシステムも独自開発した。

丁合は最大23種類のチラシまで対応が可能。また、ほかにも雨天時に新聞を1部ずつビニール袋で包む自動化機械も開発、新聞販売店の業務の効率化に貢献している。

「従業員は50人ほどと小規模ながら、加工・溶接・組み立ての技術と迅速なメンテナンスはどこにも負けないと自負しています」



「新聞販売店向けの営業を担当するグループ会社の川上機工株式会社と連携してサービスアップに努めています」と話す谷口氏。新聞販売店にとってなくてはならない存在だ。

